2018年度NPO法人愛実の会事業報告　法人概況

1．実施事業の概略

特定非営利活動法人愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指している。

そのために下記のような事業を行い、実施した。

① 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業。

② 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業。

③ 障害者総合支援法の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業。

2．事業の実施に関する事項

①特定非営利活動に係る事業

（1）生活介護事業について

契約メンバー数　31名（2019年3月31日現在）1日平均14.5名の利用（定員20人）

2つの部署（大地の家17名・紙風船14名）、がそれぞれの特徴を生かしながら充実した活動を行ってきた。また、季節の行事及びホールイベント等部署間の交流も定期的に行うことができた。

詳細については各部署報告参照。

（2）居宅介護及び移動支援事業について

ホームヘルプ事業として(朝・夕の介助、入浴、通院、入院時、外出支援、家事等)を行い、安心できる地域生活の支援を行った。2017年度月平均66件→2018年度100件
移動支援事業は、6月より再開し通学時の付き添いを行った。1件23回
医療的ケアの必要性に対して喀痰吸引研修に参加し整備を開始した。

（3）独自サービス事業について

緊急時の対応以外に利用の範囲を広げたことで利用件数が増加した。24件→113件
主なサービス内容（デイサービスの延長：朝・夕、入院時付添い、通院・外出時の車移動）

②アシスタント体制について

●新規採用5名（正職員3名、アルバイト2名）、退職者4名（正職員2名、パート1名、アルバイト1名）

●アシスタント総数37名（2019年3月31日現在）

○正職員アシスタント16名：生活支援員11名、生活介護管理者1名（サービス管理責任者兼務）、居宅介護管理者1名、サービス提供責任者1名、調理員1名、休職1名

○嘱託アシスタント 1名：生活支援員1名

○パートアシスタント2名：生活支援員2名

○アルバイトアシスタント18名：生活支援員7名、看護師1名、送迎運転手4名、清掃員1名、調理員3名、リトミック講師2名

○ 嘱託医1名

③研修について

●法人全体研修会　4月29日（日）　場所；障がい者デイセンター愛実

○接遇マナー研修　講師　株式会社シンクアクト　竹内裕子氏　　参加25名
○理念についてのワークショップ　理事長　島しづ子
○講演と質疑応答

④福利厚生について

●健康診断、インフルエンザ予防接種助成、セルフケア助成、腰痛ベルト購入助成

●正職員アシスタントに対する福利厚生センター（ソウェルクラブ）への加入継続

⑤実習生・見学等の受け入れについて

●現任研修実習生及び特別支援学校からの実習を受け入れ、見学については随時受け入れた。

⑥ボランティア等の受け入れについて

●南山幼稚園ミュージックベル、ホールイベント、紙風船サークル活動、人形劇公演、交流会等

3. 会議の開催に関する事項

①総会

●定期総会　2018年5月26日（土）　決算及び予算　法人・各部署の事業報告および事業計画

②理事会

●第1回理事会　2018年　4月　1日（土）　議題：理事長選定等
●第2回理事会　2018年　5月26日（土）　議題：総会資料確認等
●第3回理事会　2018年12月26日（土）　議題：上半期事業および会計報告、人事異動等
●第4回理事会　2019年　3月16日（土）　議題：決算見込み報告、人事異動の件

③定例会

●2019年3月16日（土）　3月16日（土）「シェアハウス構想の具体化について」

④その他の会議

●運営会議(毎月第1・3火曜)、シフト会議(毎月末：シフト調整)、各部門別＆ケース会議、防災会議(随時)実施

4. 寄付等について

●寄付金の指定　①寄付金　②夢づくり　目標額350万→寄付金総額5,367,238円
（主な使途：①福祉車両の購入、アシスタント体制の充実　②紙風船人形劇の製作費用として使用）
認定NPO基準：PST（3000円以上の寄付者）＝200名　合計251件の寄付を頂きました。

●法人正会員の状況
2019年3月31日現在47名
（内訳：メンバー家族25名　アシスタント17名　協力者2名　理事3名）

5. 2017年度会計の状況

●予算119,416,250円 に対して決算111,756,455 円　経常利益：▲8,074,699円　法人税：68,500円
決算書参照

2018年度 NPO法人愛実の会大地の家事業報告

事業概要

事業期間	2018.4.1-2019.3.31
当事業年度 テーマ	メンバーの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す。 そのために、ただ横に寄り添うだけではなく、メンバーの視線に立ち、メンバーにとって何が必要であるかを模索していく。 アシスタントの思いが優先されるデイケアではなく、メンバーにとってのデイケアを念頭に、メンバーとのかかわりを大切にしていきたい。 「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や日常の活動に季節を感じられるような取り組みを計画しつつ、外での活動も行っていく。

	計画項目		振り返り
2018年度 活動計画の 振り返り	音楽活動の充実	ミュージックケア	2018年度はじめにミュージックケアの初級研修に4名参加。 年度途中から実践を開始した。 当初はアシスタントもメンバーも手探りでの進行であったが、継続して行うことでメンバーもアシスタントも楽曲に対する認識が進み、活動も徐々に活発になってきた。 また、メンバーによっては「この曲が鳴ると…この動き」というように認識しているメンバーもいて、それぞれ好きな曲、楽しい曲というものができつつあるように感じる。
		音楽活動	ミュージックケアとは別に、アシスタントそれぞれが趣向を凝らして音楽活動を行っている。 1年を通して実践を行ってきたが、年度当初と比べると取り組みを担当するアシスタントが増え、より充実してきた。 ウクレレや電子ピアノ、太鼓、ピアノなどを使って手遊びやリズム遊びなどを行っている。 メンバーにとって刺激の多い活動であると捉えている。 今後はより一層活動の幅を広げていきたい。
	メンバーの活動への関わり		音楽活動や五感を刺激するような活動、外出等ではメンバーの関わりが多くあった。 しかし一方で、工作や制作活動の場面では障がいの重いメンバーの関わりに難しさを感じることも多くあった。 関わりが難しいから「できない」と決めつけるのではなく、どのように工夫をしたらかかわりがより多く持てるかということを意識して活動企画を行ってきた。 まだまだ不十分ではあるが、今後もどのように工夫ができるか皆で検討したい。

	活動名	活動内容
日常活動の 振り返り	クラブ活動	月1回決まったメンバーで行う少人数活動。担当するアシスタントが活動内容を考え、それぞれのメンバーが楽しめる活動を行った。少人数ならではの過ごし方（密接なコミュニケーションやゆったりとした空間作り）が出来ていた。 担当アシスタントの退職休職や人手の不足により、年度末までの継続が難しく年度途中（11月頃）までの実施となった。
	マイタイム	月1回、ご家族とメンバーから希望を聞き、メンバーの好きな活動を行った。喫茶店や買い物、室内ではマッサージや足浴、ボール投げなどなるべく希望に沿った活動を行った。
	リトミック	月2回外部から講師を招いて音楽活動を行った。 音楽に合わせて身体を動かしたり、楽器を鳴らして音楽に触れる活動をしていた。 ピアノの生演奏や楽器を鳴らすことなど耳や体への刺激も多く、多くのメンバーが笑顔になり、音楽の力の大きさを実感した。
	言語プログラム	月1回外部講師による言語、口腔内の感覚刺激活動。 食事を摂りやすくすることを目的に、口腔内のマッサージなどを行い、固くなった口唇周りをほぐしたりした。年度途中までは少人数での活動であったが、多くのメンバーにこの取り組みの必要性を感じ、大人数での活動に変更した。
	イエローレシート	毎月11日、イオンモール名古屋茶屋にて参加。2018年度は7回参加した。 1年間で合計32,700円分のレシートを集めた。（扇風機、食器等に交換）

	その他 室内活動	担当アシスタントの得意分野を生かし、特色のある活動を企画し、メンバーがどう関わることができるか考えて実施した。メンバーによっては参加することが難しい部分もあったが、回数を重ねる中でメンバーがより参加しやすい活動へと工夫することができた。 ただ、お菓子作りや創作活動などでは完成することを目的にしてしまい、アシスタントが多く介入してしまうこともあった。

	月次	具体的内容
年間外出一覧 （実施済み）	4	花見＠白鳥公園
	5	花フェスタ記念公園バラ祭り花見＠可児
	6	ボウリング＠名古屋
	7	多治見モザイクタイルミュージアム
	8	鍾乳洞体験＠関ヶ原
	9	でんきの科学館＠名古屋
	10	ミカン狩り(美浜町)
	11	遠足＠京都
	12	紅葉狩り＠東山植物園
	1	フライトオブドリームズ（セントレア）
	2	掛川花鳥園＠掛川
	3	いなべ梅林公園（三重県）
	5.6.9.10 12.1.3	イエローレシートキャンペーン（イオンモール名古屋茶屋にて）
	7月に予定していた一宮七夕まつりは、駐車場の確保が難しいことなどから行き先を変更した。 11月に予定していたBBQは人的体制の確保が難しく中止した。 12月に予定していた紅葉狩りは、人的体制の確保が難しく中止とした。 1月に予定していたセントレア見学ツアーは、新規オープンのフライトオブドリームズに変更した。 3月に予定していた佐布里公園（梅見）は、トイレ等の環境が整わずいなべ梅林公園に変更した。	

活動総括	2017年度の研修の中で音楽活動（ミュージックケア、音楽療法等）に触れる機会が多く、それぞれの活動の中で音楽の刺激について深く考える機会があった。 また、日々の活動の中でも音楽がメンバーに与える刺激の多さについて実感する場面が多くあった。 一方では、30歳代後半～40歳代に差し掛かるメンバーが多い中で、それぞれの食形態が変化しつつあり、メンバーの体の変化についても実感することが多かった。 それらの事柄を基に昨年のアシスタント間での話し合いを経て、今年度は音楽活動に重きを置いていくこととなった。 幸いにもミュージックケアの5日間の研修に4名のアシスタントが参加することができた。 その研修で得た知識、経験、技術を大地の家に持ち帰り、メンバーだけでなくアシスタントにもミュージックケアに参加してもらい、日々の実践を行っている。 また、ミュージックケアを担当しないアシスタントも、それぞれが独自の音楽活動を考え、実践を行っている。 これまでにもレクリエーションや創作活動等様々な活動を行ってきた。 また、大地の家としては外出活動にも力を入れてきた。 昨年まではそれらの活動が大地の家の柱となりつつあったが、それだけではメンバーの身体的な変化には対応しきれなかったと感じている。 いわゆる重身の人たちを対象に、彼らの変化を感じながら「今後何を核にしていくか」という課題を抱えていたが、2018年度の間に音楽活動の充実が図られ、大地の家が歩む一つの道筋ができつつあると実感している。 今後はこれまで大事にしてきた外出活動やレクリエーションに取り組みつつ、音楽活動の充実を求めていきたい。 また、メンバーと向き合い実践を深めることを大切にしていきたい。

2018年度 NPO法人愛実の会紙風船事業報告

事業概要

事業期間	2018.4.1-2019.3.31
当事業年度テーマ	①楽しく元気にでかけよう ②ふれあいつながり大切に ③心からの笑顔を広げよう このテーマには紙風船のメンバー・アシスタントがずっと持ち続けたい気持ちが込められていることから、引き続きのものとしました。人形劇公演をするための宣伝活動やグッズ制作・販売の活動、川柳など表現活動もしてきました。また時にはサークルやレクリエーションでの外出など、気持ちが豊かになるような活動を心がけてきました。

日常の活動状況	活動名	活動内容
	人形劇活動	公演に向けて各人形劇の稽古を優先的に行い、テーマソングや前座の練習にも取り組んできました。おばら先生のご指導をみんなで振り返り、より良いものにしていこうと稽古を重ねました。
	宣伝活動	ホームページやFacebook・ツイッターまたブログ等SNSの内容充実を目指し、こまめに更新をしてきました。直接宣伝に行く機会はあまりありませんでしたが、公演先へお礼状を送るなどしてよりつながりを深めてきました。
	表現活動	セリフ合わせはもちろん、人形の感情表現の練習にも力を入れてきました。また、絵本の読み聞かせや川柳など”ことば”を使った活動も取り入れました。月一回の茂吉さんプログラムは、呼吸法や発声法を中心に毎回多彩な内容でメンバーも楽しく参加することができました。
	仲間の会	月に1回行っています。公演予定確認、提案、報告等の他、各係の活動報告や日中活動の充実をみんなで相談をして考えてきました。時にはテーマごとの話し合いも行い、メンバーの意見を大切にしています。
	イエローレシートキャンペーン	毎月11日に大高イオン(緑区)にて、呼びかけ時間、1時間でメンバー、アシスタント含め5人で参加しました。なるべくメンバー全員が1年に1回は参加できるよう取り組んできました。今年度は4回の参加でした。
	レクリエーション	年8回実施 (1人2回参加) 5月:ラグーナテンボス 6.11月:プライムツリー＆ヤクルト工場 7月:ディズニーオンアイス(2回) 10月: シーライフ 11月:トヨタ工場 2月:めんたいパーク
	グッズ作り	日常で使え、実用性のあるものを考えています。今までの缶バッチ類の他、クリアファイルや各演目のグッズセットを販売しています。また、新作の案もいろいろ出てきており、紙芝居の制作は少しずつですが進んでいます。
	サークル活動	各曜日(火、水、金)クラブへ少人数での活動を継続。人形劇公演が優先ですが、できるだけ月に1回は取り入れられるように予定を組みました。それぞれのグループで要望を話し合いながら外出も含めての活動です。(給与対象外)
	体力作り 身体のケア	週に1回程度は取り入れています。身体のケアは公演前の身体の緊張緩和や公演後の疲れのリフレッシュのために、また体力づくりとしては車イスの自走練習や室内バスケ、テーブルホッケーなどを実施しています。

主な公演先・外出先				
	公演			
	7月	ヨナワールド「ボーちゃん」	2月	障がい者と教会「ボーちゃん」
	7月	清須市社会福祉協議会「ボーちゃん」	2月	日本フットケア学会公演「ボーちゃん」
	8月	北なごやパペットフェスタ「ぼくたちにできること」	3月	春のふれあい公演(年度末公演)
	9月	ひまわりホール子どもアートフェスティバル		
	9月	くるみの会放課後デイサービス「ボーちゃん」		
	11月	長久手社協主催ふれあい劇場「ボーちゃん」		
	11月	秋のふれあい公演「ボーちゃん」		
	レク外出			
	5月	ラグーナテンボス	11月	トヨタ工場
	6、11月	プライムツリー＆ヤクルト工場	2月	めんたいパーク
	7月	ディズニーオンアイス(2回)		
	10月	シーライフ		

活動総括	20年という節目の年から2年。多くの方々のご支援とご協力により、2018年度も無事に終える事ができました。しかし、2018年度はメンバーやアシスタントの入れ替わりなど紙風船にとって変化の多い年でもありました。そんな中、やはり「できることからできるだけでいい」というテーマソングのように少しずつ、しかし「人形劇を多くの人々に届けて笑顔になっていただく」という信念を忘れずにお互い力を合わせて乗り越え、2019年度に繋げていきたいと思っています。

2018年度　居宅介護事業所あみ事業報告

● 提供内容：居宅介護（身体介護・家事援助・通院等支援）・重度訪問介護（外出支援含む）
　　移動支援(ガイドヘルプ)

● 実利用者数：28名　　月平均利用100件
　内訳　居宅介護：16名（メンバー8名・外部8名）
　　重度訪問介護：17名（メンバー14名・外部3名）　※居宅・重訪重複利用者5名（メンバー5名）
　　移動支援：1名（外部1名）　通学時の付き添い

● 具体的内容：生活介護通所前後のケア、入浴介助、通院付き添い、外出支援
　　入院時コミュニケーション支援、その他日中の家事援助、見守り等
　※制度を利用できないサービスについては、法人の独自サービス（有料）を活用することで、
　　緊急時の対応を含め、提供できるサービスの内容を広げることができた。

● 職員：管理者1名（ヘルパー兼務）、サービス提供責任者1名、生活介護兼務職員9名（非常勤）

● **まとめ**

4月より生活介護と隣接（同敷地内）に居宅事業所をオープンしたことで生活介護職員の兼務が可能となり常勤換算2.5人を確保し相互の協力及び連携を取ることが出来た。
新たなヘルパーの確保はできなかったが、変形労働制を適用して利用者のニーズに対応した。
医療的ケアの必要性から喀痰吸引等の研修に参加し、事業者登録の申請を行った。
6月より移動支援事業を再開して、外部の方の通学支援をおこなった。
入院時コミュニケーション支援として、メンバーの緊急入院等の付き添いを行った。3件
重度訪問介護の移動支援を利用し、通院・買い物・散歩・外食・その他余暇等社会参加の支援を行い、SNSやホームページにガイヘル日記として掲載した。
今年度はメンバーの地域生活支援を模索し、一人暮らし等の在り方について取り組んだ。
2017年度収益：3,840,193円　→　2018年度収益：8,819,050円

2018年度行政申請内容

提供サービス		その他該当する体制等		適用開始日
各サービス共通		地域区分	三級地	
介護給付費	居宅介護	特定事業所	なし	
		福祉・介護職員処遇改善加算対象	あり	H25.4.1
		福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	なし	
		キャリアパス区分	Ⅰ（（要件Ⅰ・要件Ⅱの両方）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	H27.4.1
	重度訪問介護	特定事業所	なし	
		福祉・介護職員処遇改善加算対象	あり	H25.4.1
		福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	なし	
		キャリアパス区分	Ⅰ（（要件Ⅰ・要件Ⅱの両方）及び職場環境等要件のいずれも満たす）	H27.4.1

2018年度 NPO法人愛実の会管理部門事業報告

●給食管理(小久保)

事業方針

○ 汁物の塩分・食事の温度管理・栄養等「健康な食事」を提供する

○ 給食に対する要望等を聞き、調理員による打ち合わせの実施

事業内容

○ 季節を考慮した食材の発注、献立の作成

○ 衛生管理マニュアルに沿った調理をし、食中毒発生防止、感染予防の心掛け

○ 食物アレルギー・嚥下障害に関する配慮

●車両管理(竹内)

事業方針

○ 安全に車両が運行できるよう、故障等を起こす前に整備・点検を行う

事業内容

○ ドライバーによる洗車、車内清掃を随時実施

○ 6ヶ月ごとのオイル交換の実施

○ 車検や点検を(株)メカノスに依頼、修理も同様

○ (株)メカノスにて、12か月点検と同時にリフトの清掃・点検も実施

●防火防災管理(佐藤)

事業方針

○ 防災訓練の実施

○ 火災予防上の自主点検実施

事業内容

○ 7月5日防災備品の確認と映像視聴(訓練)

○ 3月3日真栄マンション自治会避難訓練に参加

○ 3月12日真栄マンション集会室への避難訓練、DVD視聴

●会報担当(梅田)

事業方針

○ 見やすい会報作り

事業内容

○ 年3回の会報発刊(7月11月3月)。校正を決め、各担当への原稿依頼

○ 全体の編集・校正確認、入稿、発送準備

○ 会報を通して「愛実の会」を発信していき、寄付者を募っていく。
そのために既存の会報の形の捉われず、活動のテーマや目的などをわかりやすく発信できるものにしていく。

●HP担当(大野)

事業方針

○ 法人HPの維持管理

事業内容

○ 会報PDF版の作成、公開

○ 居宅ページ作成

○ パンフレット、お知らせ、会計報告を追加

○ カウンターの設置等